



校
訓

理想は高く
心清らかに

教
育
目
標

未来を拓く、心豊かな心身ともにたくましい
生徒の育成 ～感性を磨き自立を育む教育～

もったいない！



ジョイフルはみなさんご存じと思いますが、私はよく行くんです。日曜日など少し遅めの朝食を食べに。「ドリンクバー、お替わり自由」というのがあって、コーヒー、ジュース、うーろん茶などいろいろありまして、どれを何杯飲んでもいいんです。その中の「カップチーノ」というコーヒーにミルクが混ざった飲み物がありますが、私はこれが大好きです、何杯かお替わりするんです。カップチーノをゆっくり飲みながら、新聞を隅から隅まで読んで至福のひとつときを味わいます。

この前いつものようにジョイフルで朝食をとった時に、二つ向こうのテーブルで中学生か高校生だったと思いますが、5, 6人でにぎやかに食事をしておりました。テレビ番組の話、タレントの話、友達の話など漏れ聞こえてきましたが、ひとしきりしゃべって私より先に立ち去って行きましたけど、帰る時に彼らのテーブルを見ましたらかなりの量の食事を食べ残しておりました。ハンバーグ、スパゲティー、野菜サラダなど半分ぐらひは皿に残っていたように思います。「もったいない」という言葉を思い浮かべてレジの方に行ったんですけどね。

今、世の中は「飽食の時代」と言われておりますが、日本人が毎日食べる食べ物のうちのかなりの量が食べ残されたり、売れ残ったりして捨てられていると聞きます。

私が以前勤めていた学校でも給食の残菜が結構出ておましてね、職員室のテーブルには、子ども達が残したパンや牛乳、バナナなどが山積みされていたこともありました。

水俣の浄土宗のお坊さんで濱田智海さんという方がいらっしゃいますが、長年ボランティア活動をやっておられまして、海外はタイやフィリピンまで出かけ、恵まれない子ども達に救いの手を差し伸べておられるんです。

その方の講演を聞いたことがありました。フィリピンの話でしたけど、フィリピンには日本からも大勢の観光客が訪れていますが、彼らが食堂で食べたラーメンの食い残しが、食堂の人の手によって流しに捨てられて、それが汚水のたまる溝に流れてきて、水の底にたまります。それを、お腹をすかした恵まれない子ども達が手で拾って、水で洗って、すすって食べるのだそうです。講演の中で、濱田さんは涙を流しながら語っておられました。本当に考えさせられますよね。

毎日食事を食べられることが、どんなに幸せなことであるかを私たち大人は子ども達に語ってやる必要があるではないでしょうか。そして、感謝の念や、食べ物を大切に作る心を育てることが、今求められていると思います。

※先日保護者の方からお手紙を頂きました。「花てばこ」を読んで大変感動し、毎号を楽しみにしているという内容でした。お名前がありませんでしたのでこの場を借りてお礼申し上げます。ありがとうございました。頑張ってお返しします。